

# 末吉の豊祭 流鏑馬奉納



秋が深まりを見せる11月23日、末吉の住吉神社で豊祭が行われ、「流鏑馬」が奉納されました。

流鏑馬は、今年の五穀豊穡と来年の豊年満作を願って行われる伝統行事です。住吉神社の流鏑馬は、江戸時代後期には記録がみられ、昭和56年に県の無形民俗文化財に指定されています。当日は、あいにくの雨模様でしたが、年に一度の行事を楽しもうと多くの観衆やカメラマンで会場は賑わいました。

今年の射手は二人。勢いよく走る馬上から、威勢の良いかけ声と共に次々とのが射抜かれ、花吹雪が散るたびに、訪れた観衆から大歓声や拍手が沸き起こっていました。

会場では、伝統行事の油竹登りも行われ、てっぺんの商品を目指して、子供たちが油と格闘する様子も見られました。

約60年ぶりに流鏑馬を見物した芝原耕造さん（横浜市在住）は「流鏑馬のかけ声や歓声、振る舞いの甘酒やこんにゃくの味に、忘れかけていた故郷の心を思い起こした」と話されました。



油竹登りに挑戦



一ノ射手

別府 麻美 さん



二ノ射手

杉本 蓮太 さん